

刊日

# 岩城新報

社開岩城警署内行發  
九五町南町平縣島福  
次降藤伊人行發  
一港古町濱名小野島創

刊夕日二月五

一ヶ月 三十錢  
一ヶ月 二錢  
廣告料 一行五十錢  
場所指定 十錢増  
日曜祭日翌日休刊

遺儀なごとのある。  
元祿五年再建正徳二年一  
月二日領主内藤主殿頭様拜  
殿屋根寄附亭保四年四月廿  
八日正一位の宣下あり同時  
に玉串が奉納された。  
嘉永四年内藤政民公が本殿  
の屋根を葺替え文久三年に  
は領主の石階修築及掛物奉  
納があつた。  
大古から廣瀬の當時迄年一  
度は必ず領主の参拜が行は  
れたもので領主の寄進もお  
社前に神木を植えて記念と  
して居るの之である。其間にも  
安城主藤原國武公の神刀奉  
納、二橋伊豆の椋吉重公の  
神鏡奉納、二本松領主永國  
公の神鏡奉納等其の数は多  
く、維新後は知事其他領主  
の参拜が多い、毎年の祭典  
は年三回正月廿七日祭典  
八月八日祭典七月七日に行は  
れたが、元祿二年不幸に  
も火災に罹り、縁起物等を  
焼失して仕舞つたのは洵に  
遺憾である。

## 舊四月七・八・九日 釜戸の諏訪様

### 本年七年日に一回の大祭典と大祈禱 やつこ道中の奇観は壯大無比

福島縣石城郡渡邊村釜戸間祈禱の上直接郵送すると共に計つて宮柱を修造し御  
諏訪神社は天平元年の創立 當社は植田驛から二里、泉神興を情州諏訪の國から迎  
にかゝりその靈徳は非常に驛から里十丁、湯本驛かへ奉つたが、海上恙なく下  
高くその奴祭は天下の奇観と稱され、右川の濱に着御あり、此處に  
と稱されて居る。の何れの驛からも自動車の標木を立て古口某を供奉し  
本年は下度此の大祭典執行の便がある。當日は参拜者數(古口の子孫は今も續いて  
年に當るので氏子は二萬圓 萬に達し行列進行の道筋はるで大祭の時必ず古口家  
の祭費を計上し目下盛んに非常な混雑を呈すると思へ休興して儀式を行ふ)泉  
練習と準備に忙殺されて居る。南は茨城、千葉、東京  
神奈川方面から北は宮城、青森、北海道方面から團體  
参拜の申込多く鐵道省でも臨時列車の運轉其他参拜者  
の便益の爲準備中である。大祭執行の期日は五月九日  
笠摘祭(舊四月七日)十日御神事、今此地平穩なるも  
磯田祭(舊八月)十一日笠取 百年後に於て人皆大に死  
祭(舊九月)の三日間である。御祈禱の種類は家内安全商  
賣繁昌、病氣癒癒、厄災消除、海上安全、大漁満足、  
心願成就、身体健康等で祈禱者望者は五月八日迄に手  
紙又は葉書で申込めば一週

## 諏訪神社の 御由來

天平元年正月元日藤原宗 事後果して酸鼻の事があ  
つた、即ち天平五年には諸國に大飢饉起り同六年には  
大祭執行の期日は五月九日 神事なり、今此地平穩なるも  
磯田祭(舊八月)十一日笠取 百年後に於て人皆大に死  
祭(舊九月)の三日間である。御祈禱の種類は家内安全商  
賣繁昌、病氣癒癒、厄災消除、海上安全、大漁満足、  
心願成就、身体健康等で祈禱者望者は五月八日迄に手  
紙又は葉書で申込めば一週

## 大平市を目標して 初委員會

平町に於ては来る昭和十 二年の議員改選期迄に市制  
の實現を計るべく豫て市制  
調査委員會を組織して来た  
が急々本日より左の如く各  
第一回委員會を開催する事  
警備衛生部(五月二日)  
午後一時

## 盛會を豫想さる、 磐城警親の總會

平警察署管内の警親會總本店に於て懇親會を開  
會は来る五日午後二時よりする筈である。  
同警親會室に於て行はる、尚今期總會は柴田新署長  
が同日は右總會終了後長橋迎へて初の會合として出席百  
町性源寺に於て物故警察官餘名に及び頗る盛會を極む  
の慰靈祭を行ひ引續き佳吉ること、豫想されてゐる。

## 小名濱町觀音湯の活劇 短刀斬込み事件

### 示談成立

小名濱町宇野山十三新開と兩戸をあけて顔を出した  
配達人千葉卯一郎(音)が同所通上した卯一郎は尾形俊  
町觀音湯にあれば込み主人夫婦たらと考へ携へ来た太  
小林作次郎の長男謙治(音)三寸長二尺先の尖つた  
に全活三週間の傷害を與へ松棒でなぐり付けそのま  
及び部落民一同が色々取計  
らつた結果示談成立して五  
月二日午前十一時談話外關  
係者三名は卯一郎もらいた  
げの爲平警察署へ出頭した  
事件は去る三十日午後五  
時頃隣家の江連吉太郎方で  
酒をよばれた卯一郎が午後  
九時頃一端家へ歸り酔つた  
勢で妻の止めるのも聞か  
ず觀音湯へ押かけた、その  
頃觀音湯では兩戸を閉て主  
人長男、宿泊人尾形俊夫  
(本籍仙臺の巻三十五)正  
木其他數名の者が世間話を  
してゐたが尾形に用事があ  
るから顔を出して呉れと  
鳴るので誰が何者ならん

## 天氣豫報

北西の風今晚も明日も晴  
にて時々曇り各地一般に  
晴八丈島強風  
氣壓は七百五〇ミリ六

## 濱たより

小名濱(魚市場調査)  
魚名 漁獲高 單價制  
平目 十貫 廿七・廿八  
アラ 十貫 十八  
目抜 二百貫 六  
鱒 五十貫 一箱八十錢  
タコ 二百貫 二、五、三  
石持 百貫 五、一、六  
鰯 十一本 十七、一、八  
鰻 十五本 四、二、五  
海豚 一本 五圓  
入港數

底曳船 六  
カンゴ船 二  
大敗船 二  
大目流船 二  
中之作(宋廠商店調査)  
タラ 五百貫 一、五  
ノド 二百貫 四、五、五  
タコ 二百貫 二、八  
ナメ 五十貫 五、一、五  
マコ 五十貫 五、一、五  
アン 五十貫 五、一、五  
柳 五十貫 五、一、五  
入港船  
底引船 二十  
暴風で不漁の爲一般に  
二三割減  
江名濱(印刷店調査)  
アカデ千貫 二、五、三、五  
タラ 千貫 一、七  
目抜 二百貫 五、五  
銀鰻 五百本 三、二、五  
アマタ 三百貫 二、五  
肉持 百貫 四  
ノド 卅貫 五、  
入港數 底引船 十二

### 筆頭

龍ヶ崎 仙八

筆者特に常磐新聞社より寄稿を懇請された理由も無きや、現組合員諸君!! 太い同社が日頃大小名濱の清左衛門氏と等しく神通信機として益々発展のならぬ身なる事を認識せよ色あるを見ては遠々黙す果して爾後何人が同氏に代るに忍びず向後筆を呵し任する共夫れ以上発展の可て世相展望の意味から時々能ありや否やを念慮し度い讀者諸君に相見えんとす往時の反産運動連座の諸君意圖以外に何物も無い事をに再び反省三思の余地を求諒とせられ度い。

謙弱新聞と嘘ふ勿れ、懸ては重要通信機として地す方にも君臨する日あるを斷ずるに客で無い、狭小都港として海とる勿れ、將來東北の横濱として天下の商港に選せらるゝ日の遠からざと文切型ではあるが稍々味るを豫言する、況んや過去木張りの一首を寄せて惜春に於て中央政界の鬼才比佐の儀とし度い。

光太郎氏發祥の歴史を有し現在に産業方面の達識、自治手腕の逸足、町長小野常平氏健在の地なる事を認識せよ。

機船底曳に關する禁漁區編輯部員は活動的な青年を及び増殖漁業権の二問題に要望し營業部員は中年者を災されて農林省の屬僚輩の望む。爲に昔箇の淵に陥りつゝある漁業家諸君の戦々兢兢たる態度、尚に同情に値するものがある、漁業家諸君余りに憂ふる事を休めよ、射すれば通ず、の譬あり、やがて同業代表の佐食宗吾

の現る、日もあらん。

兼ねて物語を、もしたる

江名信用組合が、頃日、反

産事件以前に信用の恢復す

るある事を流布せらるるは

筆者として同慶の至りに

筆を執る

はしがき

龍ヶ崎 仙八

筆頭

謙弱新聞と嘘ふ勿れ、懸

ては重要通信機として地す

方にも君臨する日あるを斷

ずるに客で無い、狭小都港

として海とる勿れ、將來東

北の横濱として天下の商港

に選せらるゝ日の遠からざ

と文切型ではあるが稍々味

るを豫言する、況んや過去

木張りの一首を寄せて惜春

に於て中央政界の鬼才比佐

の儀とし度い。

光太郎氏發祥の歴史を有し

現在に産業方面の達識、自

治手腕の逸足、町長小野常

平氏健在の地なる事を認識

せよ。

## 祝日刊發行

玉川村役場

村長 野崎 滿藏

中之作修築事務所

越智正勝

實業藥舖

小野泰次郎

小名濱町古港

小名濱學務委員

小島源七

小名濱町

藤社商店

高木忠治

小名濱町

泉合同運送店

齋藤昌平

泉驛前

錦村金成

小松重兵衛

小名濱町

小名濱町

鈴木木榮

小名濱町

實業學校主席

西楨喜三郎

小名濱町

### 快鼻湯

保有効 保證  
 苦膿症、慢性急性鼻淵、鼻汁多加症、  
 頭重、肥厚性鼻炎に靈効あり  
 其他鼻骨彎曲症、並に中耳炎に偉大なる  
 能 神効ありと賞賛され居ります  
 快鼻湯製造發賣元  
 磐城國中町一丁目  
 責任製劑者藥劑師 水野清一

### 水野藥局

水野清一

### 眼科専門

## 鈴木科眼醫院

本院 植田町  
 分院 小名濱町古港

### 外科専門

## 上田科外醫院

病室の設備入院應需  
 平町南町  
 電話二二九番

クスリと家庭醫療の  
 御相談は親切の店

## 白石藥舖

小名濱町中島通り  
 電話三三三番

父中村三良病氣の處本日午前  
 五時四十六分死去致し候に付  
 此段御通知申上候  
 追而葬儀ハ來ル四月午後二時小名濱町  
 自性院ニ於テ佛式ヲ以テ告別式ヲ執行  
 仕リ候  
 昭和十年五月二日

男 中村 稔  
 中村 俊子  
 女 中村 昇  
 親戚總代 中村 一  
 丸山 柯太郎  
 市原 卯太郎  
 青沼 鋒太郎  
 白川 彌源太  
 小野 晋平  
 福尾 伊太郎  
 羽岡 平三郎  
 友人總代 醫學博士  
 中村 稔

内科、小兒科  
婦人科、花柳病科

## 久保田醫院

小名濱町  
 電話二二番

内科、外科  
 花柳病科  
 小兒科  
 會田醫院  
 院長 會田 亮  
 小名濱町上横町